

分析結果報告書

サンプル名: ほうれん草
 サンプル到着日: 2017年2月7日

		分析結果	測定方法・備考
活性酸素消去活性評価	スーパーオキシド消去活性 (units SOD/g)	370	ESR法 窒素代謝(同化)や、糖代謝の指標となります。 活性酸素3種(スーパーオキシド、ヒドロキシルラジカル、一重項酸素)は、それぞれ、抗酸化成分に対する反応性が異なります。
	ヒドロキシルラジカル消去活性 (μ mol DMSO/g)	13,100	
	一重項酸素消去活性 (μ mol Histidine/g)	1,920	
糖度 (%)		15.0	Brixメーター 光合成が適切に行われているかどうかの指標となります。
ビタミンC含量 (mg/100g)		142	メルクRQフレックス 糖代謝が適切に行われているかどうかの指標となります。
硝酸イオン含量 (mg/kg)		603	メルクRQフレックス 植物体内において低く抑えられていることが望ましい成分です。
食味コメント		甘味が強い。風味が良い。	



◆総評コメント

- ・分析サンプルは、今回分析した活性酸素消去活性(ESR法)がいずれも、「ほうれん草(平均値)」を上回っています。
- ・ヒドロキシルラジカル消去活性には、糖やアミノ酸等の様々な有機物が、スーパーオキシド消去活性および一重項酸素消去活性には、ビタミンCやポリフェノール類等が関与することが知られています。
- ・分析サンプルの糖度およびビタミンC含量は、「ほうれん草(2月平均値)」と比較しても、約2倍高い値です。弊社データベースより、冬期のほうれん草は夏期のほうれん草と比較して、糖度、糖の代謝産物であるビタミンCの含量が高くなる傾向があります。《参考:『おいしいものは体にいい』丹羽真清著》

サンプルデータ	品種	トライ(タキイ種苗)	データ	圃場名称	彩食農園アグリポルト(小野農園)
	栽培区分	特別栽培 (栽培期間中農薬不使用)		所在地	神戸市北区大沢町 日西原1697番地の2
	作型分類	露地		栽培面積	10a
	株間	密植(5cm)	農業の 使用	土質	粘土質
	栽培の特徴	栽培期間中農薬不使用。 山の土を真似て土の表面 だけに竹や剪定枝等の解 織物や肥料を施肥。有用 菌を大切にされた栽培法。		殺虫剤	無
	播種日(開花日)	11月30日		殺菌剤	無
	収穫日	2月7日		除草剤	無
	サンプル発送日	2月7日	その他	無	
	生産者 データ	生産者名	小野満和・小野馨	データ その他	土壌消毒
住所		神戸市北区大沢町	出荷期間		10月~2月
			流通形態		直接販売・店頭販売
			参考価格		120g 240円(税別)
			使用資材	竹や剪定枝等の解織物	
			自家製堆肥成分	窒素・リン酸・カリウム・ マグネシウム・ケイ素	